

人々に立脚した新しい国家への転換

黒田インターナショナル

黒田 毅

国権主義から人民主義への転換は、人々を蔑ろにした世界から、人道性における社会と生活に基板した世界への転換を模索できる。これらはアメリカが人民主義であることを留意したい。これらが有する自由と創造性は国家に新しい活力を与えるのである。

これらは、新しい世界の創造という自由を人民が有することにおける国家の活性化であり、他方においては、人々が自己の生活を希求できる。

これらは強制と隷属という過去の現実から新しい未来への転換を模索するものである。

これらは真の自由主義国家への転換であり、日本国においては東洋のルーツに基盤した初めての参加を与える。

人々が顧みられない世界は必ず誤りなのである。そのため為政は人々の生活への責任を自己に要求する。

他方においては国際社会への参加が、独立に基盤し求められる。これらは安全保障とともに国家運営を宰相の判断とともに要求される。

これら新しい国家の枠組みは、新時代の適合した、時代と未来への参加なのであり、行政のプレゼンスにおける新しい国家構築は、次世代のシステムと技術における社会転換を有するため、これら判断は決して誤りでないのである。

国民の団結は必ず未来を与えるのである。政治家は自らの言葉においてそれを実現する。